

「森林宣言評価：我々は2030年に森林の世界目標を達成できるか？」とは？

森林・土地利用に関するグラスゴー・リーダーズ宣言：

UNFCCC COP26（2021年）で、140以上の政府が、「**2030年までに森林減少と土地劣化を食い止め、回復させること**」を誓約。進捗状況のモニタリング、報告機能がない。

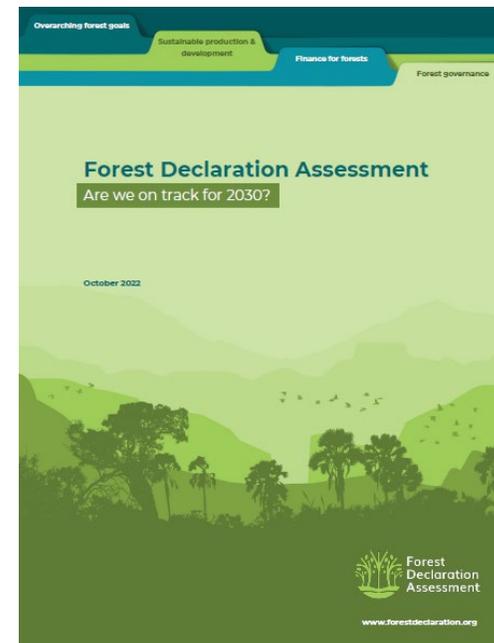
森林宣言アセスメントパートナーズ：

世界各地の研究機関、シンクタンク、NGOなどで構成され、2015年から毎年、「**森林宣言評価**」を公表。「森林・土地利用に関するグラスゴー・リーダーズ宣言」や「森林に関するニューヨーク宣言(2014)」、「ボンチャレンジ(2011)」などの森林に関する世界的なコミットメントの包括的な追跡と評価を、独立した立場で行っている。IGESは2019年から参加。

報告書ダウンロード：

日本語要約版 ([IGESウェブサイト](#))

英語版 ([Forest Declaration Assessmentウェブサイト](#))



本日の流れ

森林宣言評価は、4つのテーマをカバー

- | | | |
|---|---------------|--------|
| 1 | 森林目標達成の進捗 | 山ノ下麻木乃 |
| 2 | 持続可能な生産と開発 | 藤崎泰治 |
| 3 | 森林資金
ガバナンス | 梅宮知佐 |
| 4 | Q&A | |

質問はzoom画面下のQ&Aより、ぜひお寄せください！

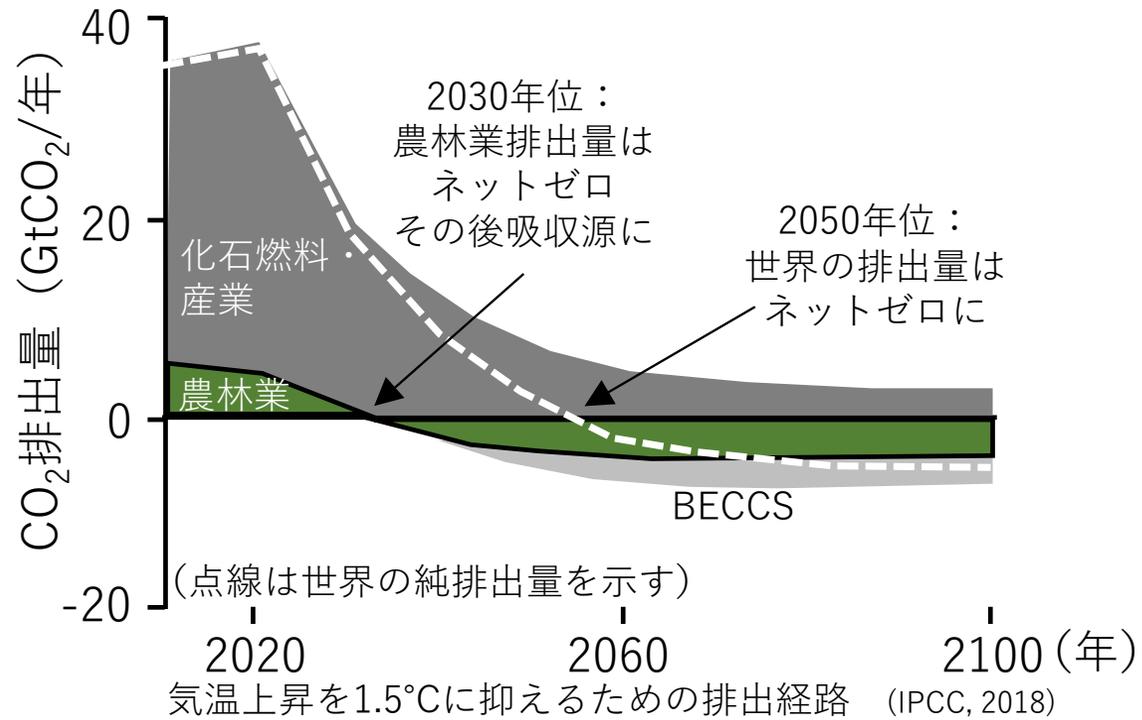


森林の世界目標とその進捗

2022年 森林宣言評価

生物多様性と森林領域 / ジョイント・プログラムディレクター
山ノ下 麻木乃

なぜ、2030年までに森林減少ゼロ（森林の世界目標）をめざすのか？



- 1.5°C目標達成には、農林業（森林）分野で**2030年にネットゼロの達成**が不可欠。←どのセクターよりも早い
- 進行中の森林減少を止めなければ**（植林するだけでは）、ネットゼロの達成と、将来の森林によるCO₂吸収効果は期待できない
- 2030年まであと7年。「森林宣言評価」は、森林の世界目標達成のための進捗状況进行评估



森林減少

大量のCO₂排出
100tCO₂/ha



森林セクターのネットゼロは、排出と吸収のバランス
森林減少を止めなければ、森林を吸収源として機能させることは難しい



植林

吸収

3tCO₂/ha /年



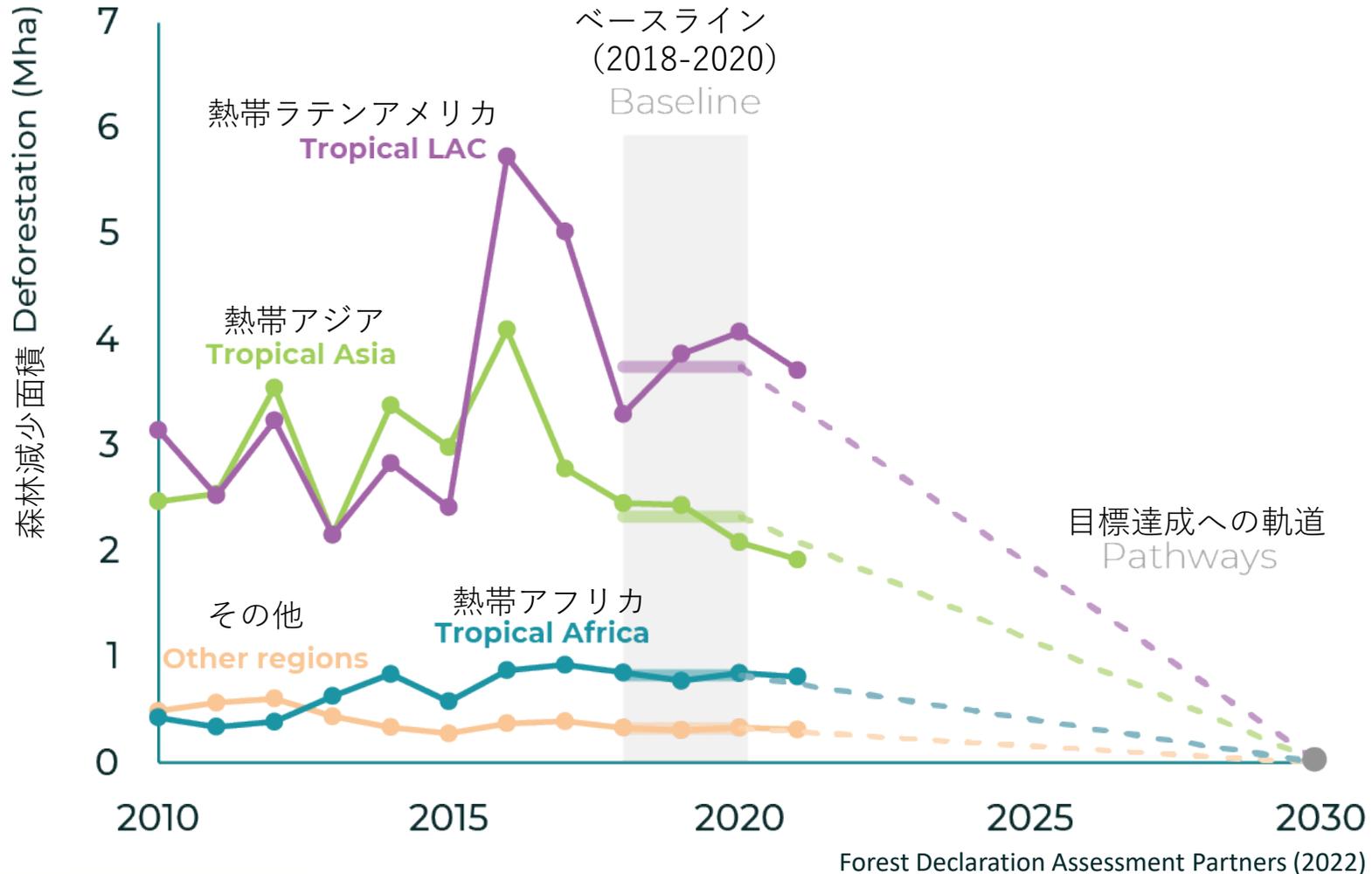
植林による吸収



森林減少による排出

我々は2030年に森林の世界目標を達成できるか？（進捗状況）

「よい兆しは見られるが、目標の達成に向けた軌道に私たちが乗っていることを示す世界的な指標は、現状では一つもない」



- 目標達成のためには、ベースラインと比較して毎年10%の削減が必要だが、**2021年世界平均で6%削減にとどまった**
- 熱帯アジアは唯一、目標達成への軌道に乗っている（インドネシア：過去5年森林減少削減を継続中）
- ガーナ・コートジボワール商品作物主導型の森林減少を大幅に削減
- 過去20年の植林努力で36カ国で森林被覆が純増したが、森林減少がそれを上回り、森林面積は世界全体で1億ヘクタールの純減